

# ILFOCOLOR E6

## COLOR REVERSAL FILM DEVELOPING KIT

# ILFORD

ILFOCOLOR E6 2.5Lキットは、ロータリー式自動現像機、小型リール現像及び深タンク現像処理用に処方された、カラーリバーサルフィルム用現像液キットです。

各処理液は濃縮液となっており、最大2.5Lの使用液を作成することができ、1キットで最大40本までのリバーサルフィルム (135-36exp,120) を処理することが可能です。

環境負荷を抑えたILFOCOLOR E6キットは、リバーサルフィルムの処理において、高品質のパフォーマンスを提供いたします。

### 1. ILFOCOLOR E6キット内容

| 処理液   | 薬品             | ボトル数 | 原液容量       | 使用液   | 処理本数                  |
|-------|----------------|------|------------|-------|-----------------------|
| 第一現像液 | R1 : FD        | 1    | 500ml x 1  | 2.5L用 | 40本/<br>135-36exp、120 |
| 反転液   | R2 : RV        | 1    | 125ml x 1  | 2.5L用 |                       |
| 発色現像液 | R3 : CD Part-A | 1    | 500ml x 1  | 2.5L用 |                       |
|       | R3 : CD Part-B | 1    | 50ml x 1   | 2.5L用 |                       |
| 調整液   | R4 : CT        | 1    | 250ml x 1  | 2.5L用 |                       |
| 漂白液   | R5 : BL        | 1    | 1300ml x 1 | 2.5L用 |                       |
| 定着液   | R6 : FX        | 1    | 325ml x 1  | 2.5L用 |                       |
| 安定液   | R7 : STB       | 1    | 25ml x1    | 2.5L用 |                       |

- ・ 上記の処理剤原液を水で希釈する事で、各処理剤の使用液が2.5L作れます。
- ・ 必要な使用液量に合わせて、原液を量り分けて使用することができます。
- ・ 発色現像液 (R3:CD) は、Part-A,Bの2本のボトルに別れています。
- ・ 各薬品の注意点、容器の材質等は各容器のラベルに記載されています。

### 2. 使用液の作り方

#### \*注意事項

- ・ 原液を溶解する水は、規定量の水道水を正確に計り取り、30±5°C程度に温めてから使用してください。
- ・ 溶解後の使用液をしばらく保存する場合は、密閉性のある容器で保管してください。
- ・ 発熱や有害なガスの発生の原因となりますので、決められた組み合わせ以外の処理剤を混合しないでください。
- ・ 第一現像液 (R1:FD)、発色現像液 (R3:CD) の原液及び使用液に、その他の処理液が少量でも混入すると、適正な写真性能が得られなくなります。

# ILFOCOLOR E6

## COLOR REVERSAL FILM DEVELOPING KIT

# ILFORD

### 2.5Lの使用液を作成する場合

| 処理液   | 薬品       | 水      | Part-A   | Part-B | 合計       |
|-------|----------|--------|----------|--------|----------|
| 第一現像液 | R1 : FD  | 2000ml | + 500ml  | -      | = 2500ml |
| 反転液   | R2 : RV  | 2375ml | + 125ml  | -      | = 2500ml |
| 発色現像液 | R3 : CD  | 1950ml | + 500ml  | + 50ml | = 2500ml |
| 調整液   | R4 : CT  | 2250ml | + 250ml  | -      | = 2500ml |
| 漂白液   | R5 : BL  | 1200ml | + 1300ml | -      | = 2500ml |
| 定着液   | R6 : FX  | 2175ml | + 325ml  | -      | = 2500ml |
| 安定液   | R7 : STB | 2475ml | + 25ml   | -      | = 2500ml |

- ・ 第一現像液は、2000mlの水へR1:FD 500ml (1ボトル) を溶解することで、2500mlの使用液となります。
- ・ 反転液は、2375mlの水へR2:RV 125ml (1ボトル) を溶解することで、2500mlの使用液となります。
- ・ 発色現像液は、水1950mlへR3:CD part-A 500ml (1ボトル) を加え攪拌し、溶液がクリアになってからR3:CD part-B 50ml (1ボトル) を加えてよく攪拌することで、2500mlの使用液となります。
- ・ 調整液は、2250mlの水へR4:CT 250ml (1ボトル) を溶解することで、2500mlの使用液となります。
- ・ 漂白液は、1200mlの水へR5:BL 1300ml (1ボトル) を溶解することで、2500mlの使用液となります。
- ・ 定着液は、2175mlの水へR6:FX 325ml (1ボトル) を溶解することで、2500mlの使用液となります。
- ・ 安定液は、2475mlの水へR7:STB 25ml (1ボトル) を溶解することで、2500mlの使用液となります。
- ・ 作成した使用液は、セクション4の表の通り、保管することが可能です。

### 1.25Lの使用液を作成する場合

| 処理液   | 薬品       | 水        | Part-A    | Part-B | 合計       |
|-------|----------|----------|-----------|--------|----------|
| 第一現像液 | R1 : FD  | 1000ml   | + 250ml   | -      | = 1250ml |
| 反転液   | R2 : RV  | 1187.5ml | + 62.5ml  | -      | = 1250ml |
| 発色現像液 | R3 : CD  | 975ml    | + 250ml   | + 25ml | = 1250ml |
| 調整液   | R4 : CT  | 1125ml   | + 125ml   | -      | = 1250ml |
| 漂白液   | R5 : BL  | 600ml    | + 650ml   | -      | = 1250ml |
| 定着液   | R6 : FX  | 1087.5ml | + 162.5ml | -      | = 1250ml |
| 安定液   | R7 : STB | 1237.5ml | + 12.5ml  | -      | = 1250ml |

- ・ 処理するフィルムの本数に合わせて、原液及び水を量りわけて、作成する使用液の量を調整することができます。
- ・ 1.25Lの使用液にて、最大20本までのフィルムを処理することができます。
- ・ 残った原液は、元のボトルにて密閉して保管してください。



# ILFOCOLOR E6

## COLOR REVERSAL FILM DEVELOPING KIT

# ILFORD

1Lの使用液を作成する場合

| 処理液   | 薬品       | 水     | Part-A  | Part-B | 合計       |
|-------|----------|-------|---------|--------|----------|
| 第一現像液 | R1 : FD  | 800ml | + 200ml | -      | = 1000ml |
| 反転液   | R2 : RV  | 950ml | + 50ml  | -      | = 1000ml |
| 発色現像液 | R3 : CD  | 780ml | + 200ml | + 20ml | = 1000ml |
| 調整液   | R4 : CT  | 900ml | + 100ml | -      | = 1000ml |
| 漂白液   | R5 : BL  | 480ml | + 520ml | -      | = 1000ml |
| 定着液   | R6 : FX  | 870ml | + 130ml | -      | = 1000ml |
| 安定液   | R7 : STB | 990ml | + 10ml  | -      | = 1000ml |

- ・少量のフィルムを処理したい場合は、できるだけ少ない使用液を準備することが可能です。
- ・上記の表は、1Lの使用液を作成する場合を示しています。16本のフィルムを処理することができます。
- ・さらに少量のフィルムに合わせて使用液を作成する場合は、水と原液の比率を計算してください。ただし、処理機材の仕様によって最低処理液量が必要になります。

### 3. 処理条件

| 処理工程 | 薬品       | 処理温度(°C)   | 135-36exp・120の処理本数と処理時間 |       |        |         |
|------|----------|------------|-------------------------|-------|--------|---------|
|      |          |            | 1~4本目                   | 5~8本目 | 9~12本目 | 13~16本目 |
| 第一現像 | R1 : FD  | 38.0 ± 0.3 | 6'15"                   | 6'30" | 6'45"  | 7'00"   |
| 第一水洗 | 溜め水      | 38.0 ± 0.6 | 2'30"                   | 2'30" | 2'30"  | 2'30"   |
| 反転   | R2 : RV  | 38.0 ± 0.6 | 2'00"                   | 2'00" | 2'00"  | 2'00"   |
| 発色現像 | R3 : CD  | 38.0 ± 0.6 | 6'00"                   | 7'00" | 8'00"  | 9'00"   |
| 調整   | R4 : CT  | 36 ± 3     | 2'00"                   | 2'00" | 2'00"  | 2'00"   |
| 漂白   | R5 : BL  | 36 ± 3     | 6'00"                   | 6'30" | 7'00"  | 7'30"   |
| 定着   | R6 : FX  | 36 ± 3     | 4'00"                   | 4'00" | 4'00"  | 4'00"   |
| 第二水洗 | 流水       | 24 - 41    | 3'00"                   | 3'00" | 3'00"  | 3'00"   |
| 安定   | R7 : STB | 24 - 41    | 1'00"                   | 1'00" | 1'00"  | 1'00"   |

- ・現像器具により又現像液量により、現像液温の低下が起きる場合があります。この場合はフィルムをセットしたタンクに 38°C の水を入れ、5 分間程度放置後に水を捨ててから現像を開始してください。
- ・上記の表は、基本処理条件で各使用液を1L使用した場合の処理能力の目安です。
- ・処理したフィルム本数によって、処理時間が異なります。
- ・第一現像 (R1:FD) の処理時間は、現像方法や機材の仕様によって、修正する必要があるかもしれません。
- ・反転 (R2:RV) 終了までは、全暗黒にて処理する必要があります。
- ・表示されている処理時間は、約10秒間の液切時間を含んでいます。
- ・カラーバランスに異常がある場合は、第一現像液 (R1:FD) 又はカラー現像液 (R3:CD) に他の薬剤が混入したおそれがあります。



# ILFOCOLOR E6

## COLOR REVERSAL FILM DEVELOPING KIT

# ILFORD

### 4. 保存条件

| 処理液   | 薬品       | 開封済み原液 | 使用液   |
|-------|----------|--------|-------|
| 第一現像液 | R1 : FD  | 12 週間  | 1 週間  |
| 反転液   | R2 : RV  | 12 週間  | 1 週間  |
| 発色現像液 | R3 : CD  | 12 週間  | 1 週間  |
| 調整液   | R4 : CT  | 12 週間  | 1 週間  |
| 漂白液   | R5 : BL  | 24 週間  | 24 週間 |
| 定着液   | R6 : FX  | 24 週間  | 24 週間 |
| 安定液   | R7 : STB | 24 週間  | 24 週間 |

- ・ 開封後の液は、元の容器でしっかりと密栓し、冷暗所で保管してください。

製品仕様は予告なく変更する場合があります。会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

2019.12